



学校ホームページ

笑顔あかるく 心あったか すごしてあんしん

トリプルAAAの学校づくりを振り返って（児童・教員・保護者・民生委員自治会長アンケートから）

学校自己評価結果のまとめ

1 「笑顔あかるく」

（1）「分かった！」「学習が楽しい！」の思いがあふれる授業をします

（2）知的好奇心を高め、「もっと知りたい」「もっとやってみたい」と夢中になれる活動をします。

本年度からタブレット端末を使用した授業が始まりました。タブレットの有効な活用方法について教員間で研修を行いながら、子どもたちにとって楽しく、知的好奇心を高めるような授業ができるよう教育実践を重ねてきました。実践を重ねる中で、子どもたちが調べたいことをインターネットで進んで調べたり、自分の考えをまとめて友だちと共有したりといった活動が、授業の中でどんどん見られるようになっていった一年でした。

児童アンケートでは、「楽しく学習していますか」に98%、「もっと知りたい・もっとやってみたいと思うことがありますか」に92%の児童が肯定的な回答をしています。今後も教員間で研修を行いながら教員一人一人の授業力向上に努め、子どもたちにとって魅力ある授業づくりを進めていきます。



アサガオを撮影（1年）



マット運動を撮影（4年）

（3）互いに尊敬し、子ども同士や子どもと教師の「絆」を深めます。

（4）「ありがとう」の言葉があふれる学校にします。

「みんなのいいところを見つけていますか」に95%、「ありがとうの言葉を使っていますか」に99%の児童が肯定的な回答をしています。子どもたち同士が、お互いの個性や特性を認め合いながら、どの子にとっても居心地のいい場所となるよう、教職員も日頃から子どもたちのいいところを見つけ、評価するようしたり、道徳や人権の授業等を通して学級づくりを進めたりしてきました。

今後も、子どもたちが互いの良さを知り、温かい繋がりができるよう取組を進めていきます。



浦狩知子さんの人権に関わる講演（5年）

（5）元気な挨拶の声があふれる学校にします。

「みんなに挨拶をしていますか」に94%の児童が肯定的な回答をしています。保護者アンケートでも93%のご家庭で挨拶や礼儀を大切にするよう指導していただいています。地域の方々からも「気持ちいい挨拶をする子が増えましたね」とうれしい言葉をいただくことがあります。これからも気持ちのいい挨拶ができる児童を増やしていくよう取り組んでいきます。



あいさつ運動（生活委員会）

(6) 白塚に誇りを持ち、郷土を愛する心を育てます。

郷土を愛する心を育てることは、自尊感情を育てることにつながります。今年度もコロナ禍のため、地域から学ぶ学習を中止・縮小せざるを得ないこともありましたが、「田植え体験」(5年)や「ハマヒルガオ再生プロジェクト」(6年)、「浜清掃」(全校)、「認知症キッズサポーター養成講座」(4年)など、多くの地域の方にご協力いただき、実体験する機会を持つことができました。長年、地域から学ぶ学習を続けてきたこともあり、児童の95%が白塚のまちが好きと回答しています。今後も、地域から学ぶ学習を大切にしていきます。



ハマヒルガオ再生プロジェクト(6年)

2 「心あったか」

(1) 失敗があたたかく受け入れられ、できたときにほめてもらえる、そういう学級・学校にします。

(2) 互いのいいところに気付かせ、ほめ合えるような仲間づくりに努めます。

(3) 子どもたちに対する教師のはげましなどの声かけを大切にします。

(4) 心が温かくなるような挨拶をしていきます。

「心があったかい学級や学校だと思いますか」に95%、「先生や友達にほめられたことがありますか」に92%の児童が肯定的な回答をしています。このことは、学級担任が中心となって、子どもたちを褒めたり、お互いで褒め合ったりするような学級づくりに取り組んでいる成果が出てきていると捉えています。互いに尊重し合う温かい学級づくりが学校の基礎となつてこそ、さまざまな取組の効果が表れると思います。今後も、「友だちの良いところをみつけられてよかった」と実感できる取組を進めていきます。

3 「すごしてあんしん」

(1) 危機管理マニュアルの見直しを行い、危機管理体制を整えます。

(2) 5S(整理整頓清潔清掃しつけ)を実行し、明るく清潔な環境にしています。

(3) 安全点検を定期的に行い、安全に配慮した環境整備をします。

今年度もコロナ禍の中、子どもたちが安全・安心な学校生活を送るために、ご家庭とも連携しながら、さまざまな取組を行ってきました。ご家庭では、毎朝の検温や健康観察、体調がすぐれない場合は無理をせず自宅療養をお願いするなど、さまざまな協力をしていただきました。学校でもマスク着用や常時換気、3密の回避、手洗い消毒の他に、非常事態宣言発令時等には昇降口での検温や教職員による給食配膳など、できる限りの感染対策を実施してきました。



教職員による給食配膳

感染が一時的に収束しても、また新たな感染が拡大していくことが繰り返される状況にあります。今後も、ご家庭と連携しながら、子どもたちが安全・安心な学校生活を送れるよう、できる限りの対策を行っていきます。

(4) 健康を考えたおいしい給食を提供します。

本校の給食は栗真小学校へも配送しながら、毎日、健康で安全・安心の温かい給食を提供できるよう努力しています。食物アレルギーのお子さんの対応では、保護者と献立について丁寧に話し合って提供するメニューを決めています。毎日、栄養教諭・栄養職員・給食調理員・担任・管理職で確認しあい、間違いなく安心して除去食等の提供ができるよう努めています。また、宗教除去食として、肉除去の対応も行なっています。



食教育(2年)

栄養教諭による食教育の授業も実施し、学年に合わせて食の文化や健康な体に必要な栄養の取り方などについて楽しく学習を進めています。

(5) 子どもたちに学習規律や行動規律を指導し、規範意識が育つよう努めます。

「チャイムですばやく行動する」に 95%、「約束や決まりを守る」に 97%の児童が肯定的な回答をしています。このことは、教職員がチャイムと同時に授業を始めるようにしたり、機会あるごとに約束や決まりを守ることの大切さについて指導したりしてきている効果が表れてきていると思われます。

しかし、休み時間や放課後などでの児童の様子を見ると、荒っぽい言葉遣いをしてしまったたり、自分勝手な言動から友だちとトラブルになってしまったりすることもあります。今後も、引き続き学習規律や行動規律について指導し、子どもたちの規範意識が育まれるよう取り組んでいきます。

(6) 一人ひとりが認められ、安心して心を開くことができる人間関係づくりを進めます。

(7) 何でも相談できる教師との関係づくりに努めます。

「困ったことがあったとき、相談できる人はいますか」に 92%の児童が肯定的な回答をしています。子どもたちが相談する相手は、友だちや保護者、担任など、さまざま考えられますが、学校としましては、学級担任が中心となり普段の子どもたちの様子から、困ったことや悩みを持った子がいないかを把握し、気になることがあれば積極的に声をかけて相談しやすい関係づくりに努めるようしています。

しかし 8%の児童が「相談できる人はいますか」に否定的な回答をしています。学校としましては、来年度以降も子どもたちが相談しやすい雰囲気づくりに、引き続き取り組んでいきたいと思えます。

また、保護者アンケートの「学校に相談しやすいか」についても、12%のご家庭から否定的な回答を頂いていますので、学校と保護者の関係づくりにしても引き続き取り組みを進め、相談しやすい学校づくりを進めていきたいと思えます。

(8) 各たよりやHPなどで学校の様子を知らせます。

今年度もコロナ禍のため、参観や行事などで保護者や地域の方々に来校していただき、子ども達や学校の様子を見ていただく機会が限られてしまいました。

そのような中でも、学校の取組や子どもたちの様子を保護者や地域の方々に知っていただくことは、とても大切なことと考え、学校だよりや学年だより、保健だより、給食だよりなどを月 1～2 回発行してきました。また、学校ホームページは、ほぼ毎日更新し、児童や学級、学校の様子を配信しています。こういった取組もあって「学校の様子が分かりやすく伝わっている」の項目は保護者アンケートが 87%、民生委員・児童委員アンケートが 83%の肯定的回答でした。今後も保護者や地域の方々に各たよりやホームページで学校の情報を発信していきたいと思えます。



社会見学の HP (3年)

4 家庭での様子

(1) 家庭学習について

「宿題や自主勉強などの家庭学習に取り組んでいる」の肯定的回答は 95%でした。学力をつけるためには、学校だけの学習では難しい面があります。やはり、家庭でコツコツと学習することで学力は定着していきます。出された宿題だけをするのではなく、予習や復習等の自主的な学習が大きな効果があります。

一身田中学校区では、統一した家庭学習の手引きを配付し子どもたちに指導しています。その手引きの中では、宿題と自主学習を合わせた家庭学習のめやすの時間を 10 分×学年+10 分(1年生なら 20 分、6年生なら 70 分)とし、宿題以外に自分が興味関心がある学習を決めて自主学習に取り組

むようになっています。

しかし、現状は宿題をすることだけでも精一杯の児童も多く、中には、家で宿題をせずに、学校に来てからやっているという子も少なからず見られます。ご家庭でもお子さんの家庭学習の様子を見ていただき、励ましなどの声かけをしていただきますよう、お願いします。

〔2〕メディアとの関わり

保護者アンケートの「テレビやゲームなどをする時間を決めていますか」で「あまり決めていない、決めていない」と回答されたご家庭が、テレビで56%、ゲームで41%ありました。ゲームやテレビの時間がきちんと決まっていないと、つつい長時間、テレビやゲームに夢中になってしまい、家族とのコミュニケーションや学習する時間が確保できないなどの弊害も生じがちになります。

例年、実施されている全国学力・学習状況調査での6年生の回答では、本校の児童は全国に比べてスマホやテレビなどにかかる時間がとても多いという傾向が見られています。ご家庭で十分に話し合ってください、各家庭に合った時間設定やルール作りをしていただきたいと思います。

また、近年、スマホによる友だち関係のトラブルも増えています。学校でも、学年に応じてネットモラルについて指導していますが、ご家庭でもお子さんが、どのようなネットの使い方をしているか、また、どんな人と繋がっているのかなど、しっかり確認していただければと思います。どうぞよろしくお願いたします。



スマホ教室(6年)

【来年度に向けて】

授業で今までできなかったことができた時や、友だちから認められた時、行事をやり遂げた時などに、子どもたちが満面の笑顔やとても満足そうな顔を見せてくれることがあります。私たち教職員は、そういった子どもたちの生き生きとした姿を見るのが嬉しくてたまりません。来年度も、子どもたちの、そういった姿が少しでも多くみられるよう、2学期末に行ったアンケートをもとに、教職員で今の状況と今後の取組について検討を行いました。

その中で、以下のような、「来年度も大切にしていきたいこと」が明らかになってきました。



- 地域の方との出会い学習を続け、地域とのつながりを深めていく
- 授業や行事などで、できた・分かったという成功した体験を重ねていくことで、子どもたちの学習意欲を高めたり、自らの成長を実感できたりするようにしていく
- 教職員が整理整頓や時間を守るなどの基本的な生活習慣を心がけ、身近なよき大人としての見本を示していく
- 教職員の方から子どもたちに声をかけたり、積極的に子どもたちに関わっていったりすることで話しやすい関係を築いていく など

今後とも、子どもたちの生き生きとした姿がたくさん見られるよう、学校と家庭、地域が一体となって子どもたちを育てられるよう、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。